

Alpen-Adria-Universität Klagenfurt

クラージェンフルト大学

所在地

Universitätsstraße 65-67, Servicegebäude, 2. Stock 9020 Klagenfurt, Austria
ホームページ: <http://dia.uni-klu.ac.at/first.htm>

主な対象学部

外国語学部: 語学留学(独)

沿革

1970年設立。オーストリア南部ケルンテン州の州都クラージェンフルトの大学。ヴェルター湖のほとりにあり、イタリアのヴェネツィアやスロベニアの首都リュブリャナにも近い。特に、英語で行なわれる授業も多い実用経営学部の人気が高く、ドイツ、アメリカ、イタリアなどからも学生が集まる。学生数約11,000名。

特色

- 語学センターの授業は、学生以外にも解放されているので、さまざまな人と交流できる。
- クラス分けテストによって、自分に合ったレベルで勉強ができ、夏および春のインテンシブコースとの組み合わせで、高い学習効果が見込める。
- 聴講生として登録すれば、学部の一般授業に参加することも可能。

宿泊

学生寮(完全個室、共同スペース付きの個室)。いずれもシャワー・トイレ、テレビ、インターネットが備えられている。

生活

キャンパス内でほとんどの用事が足せる。歩いていける距離に大きなスーパーマーケットもある。街の中心までは、バスか自転車が便利。湖にも近く、さまざまなスポーツが楽しめる。人はとても親切。

条件

「Start Deutsch1」に合格、またはそれと同等の能力があると認められる場合(独検の可否、授業成績などから総合的に判断する)。留学前に「ドイツ語基礎演習ⅢまたはⅣ」を修了していること。加えて、自立して行動できる能力があること。

留学時期

原則として2年次第2学期から1年間。(定員3~4名)。
(冬学期: 10月~1月/夏学期: 3月~6月 | インテンシブコース: 9月/2月)

クラージェンフルト留学体験記

外国語学部ドイツ語・ドイツ文化専攻 2015年留学 原嶋 梓

私は2015年9月から約10ヵ月間オーストリアにあるクラージェンフルト大学に留学をしました。留学に行く前は、海外に長期間行くことや初めての一人暮らしに不安を抱いていました。また日本で言う手続きが大変だったため楽しみの反面、オーストリアでの手続きができるか不安でした。

クラージェンフルトに到着してからの手続きは学生証を作ったり、銀行で口座を開いたり市役所に行き住民登録を行ったりとやるのがたくさんありました。場所によっては午前中で閉まってしまうところがあるので授業の休み時間など時間を見つけて少しずつ進めていきました。しかしオーストリアは6ヵ月までビザなしで滞在できるのでまだ時間があると油断をしまいビザを貰えないまま6ヵ月が経ってしまいました。とりあえず、すぐに日本に帰って手続きをしました。10日後にはなんとかオーストリアに戻ることができましたが、沢山の事に迷惑をかけてしまいました。何事も早めに行動し、困ったときはすぐに周りの人に相談することが大切だなと思いました。

インテンシブコースは午前9時から午後12時半までで火曜日と木曜日は午後3時までで3週間あります。授業の内容は文法を中心にリスニングや発音練習などをしました。最初は先生が何を言っているかわからないし自分が思っている

ことを言いたくも言えなくて悔しい思いをしました。このコースが終わるとセメスターが始まります。ドイツ語の授業は週に2回で午後6時から午後9時までです。前期のセメスターは文法が中心でした。習った単語や文法を使ってみんなでゲームをしたり自分の国について話し合ったりと楽しかったです。インテンシブコースのときより1クラスの人数が多いので先生にみてもらえる時間が減りました。授業中わからなかったところは、休み時間や授業後に先生に聞きに行ったり友達に聞いたり、授業がない日も勉強したりと自分から動かないと授業についていけなくなりました。宿題はあまりなかったのですがその日にやったことを復習していました。後期のセメスターは難易度が上がって授業についていくのが大変でした。文法と長文読解を中心に勉強しました。宿題は長文読解を出され単語や文法を調べていました。

私は学校の目の前にある寮に住んでいました。この寮は3階建てです。部屋は二人部屋と三人部屋があります。どちらの形式でも個人ルームにはTV、机、椅子、ベッド、クローゼット、棚などがありました。また二人・三人部屋ともに洗面所(シャワー)、トイレ(ユニットバスではありません)は共同です。どちらの部屋もシャワー、冷蔵庫(冷凍庫付き)、トイレは1つずつ、キッチン(約12人)で1つです。掃除用具入れには掃除機、ほうき、モップなどがあり、各フロアで共有していました。またキッチンには電子レンジ、オーブン、ケトルもあり自由に使うことができます。キッチンの共同スペースは広いのでみんなでご飯を食べたり、勉強をしたりしました。また週末にはキッチンでパーティーをしているのをよく見かけました。キッチンに行けば誰かと話すことができるので楽しかったです。ランドリールームは1階と2階にあり、自分が住んでいる階のランドリールームが自分の部屋の鍵で開けられるようになっていました。

留学を終えて上手くいかないことやハプニングもあったけれど日本では体験できないことができたり新しい発見があったりとすごく充実した日々を送れました。いろいろな国の人と出会い、たくさんの思い出を作ることができました。留学を応援して下さい方への感謝を忘れずに勉強や就職活動を頑張っていきたいと思います。